

読みどき旬どき

●「技術者たちの敗戦」前田幸則
(章恵社/1,680円)

戦後日本が、奇跡の復興を成し遂げた原動力は、じつは戦時中に、先端兵器の開発をになつた優秀な技術者たちがいたからだ。情報遮断や原材料の不足、ひつ迫する戦況のなかで、彼らが見せた「集中力」「精神力」「経験」こそ、いまの日本に必要な。若き技術者たちの感動的な秘話が満載。

●「戦士の肖像」神立尚紀(文春ネスコ/1,890円)

あの戦争から60年、現代日本の「祖父たち」が戦った太平洋戦争を、24人の当事者たちが語る。零戦初空戦のパイロット、沈没した大船の副砲長、回天特攻隊員、カウラ収容所の捕虜……。生と死のはざまを生きた者たちへのインタビューと、多数の写真による貴重な時代の証言。

●「アルザスの小さな旗」マリールイス・ロートツィイマーマン
早坂七緒/訳(法政大学出版局/2,520円)



1942年アルザス。16歳だった著者は家族とともに収容所に連行される。教師だった両親が、ナチスの教育方針に従わなかったため、幸せな幼い頃の記憶と故郷への愛に支えられ、ナチスに屈することのなかった家族の物語。

●「日航機墜落」河村一男(イースト・プレス/1,680円)

1985年夏、日航機墜落。あの大惨事の現場で、総指揮を執つたのが、当時群馬県本部長の著者だった。「123便が墜落したのは御巣山山ではない」をはじめ、多くのマスコミが伝える誤報を、20年目にして、すべて正すノンフィクション。

●「二人のアキラ、美枝子の山」平塚晶人(文藝春秋/2,200円)

美枝子が「水鏡」のモデルとなる松海明と会つたのは18歳。3カ月後、アキラは北鎌倉根で死す。もう一人のアキラ、第2次RCC主宰者の奥山章と美枝子は結ばれる。山を舞台に、二人の伝説のアルピニストと一人の女性の間に起きた戦後のドラマを描く。

●「男の勤ちがい」斎藤学(毎日新聞社/1,300円)

「自分が何をしていたって女は持つてくれるはず」。本来、この甘えは母子関係の中だけに許されるもの



男らしさは病気だ!

で、緊張をはらんだ男女関係からは生まれにくい。恋する女性を母親にしてしまう「子どもの男」はいかにして生まれたか。精神科医が「男らしさの病」に迫る。

●「仕事も勉強もはかどる」15分間読書術「ブルーノ・コンピ」メビウス/イラスト 藤田真利子/訳
(章恵社/1,470円)

昼間のついでウトウトを我慢してませんか? それがストレス、疲労、効率ダウンにつながる。効果的な15分睡眠で、イライラやストレスを断ち切れる。最新睡眠研究の成果に基づいた、脳と身体に効く上手な昼寝の方法。

●「イエスの弟」ハルシエル・シャンクス ベン・ウィザリントン 監訳 経渡佳子・菅野ま子/訳(松柏社/2,520円)

エルサレムで見つかった2000年の骨箱は、イエスに弟がいたことを示す。あのイエスに弟が? マリアは処女ではなかった! 大揺れに揺れるキリスト社会。はたして真実は……。死海文書を超える衝撃のノンフィクション。

●「だから、アメリカの牛肉は危ない」ドナルド・スタル マイケル・ブロードウェイ 中谷和男/訳
山内一也/監修(河出書房新社/2,100円)

1970年代初期以降、北米の精肉産業で起きた変化には、恐ろべき実態が隠されていた。巨大食肉処理企業の専横、行政との癒着や劣悪な労働条件など、現在のBSEにつながる

BOOK 読と虫

横浜 有隣堂横浜駅西口店
8月1~7日

8位、名作のあらすじ、の次は「さわり、?!

- 1 幸福の法
大川隆法 幸福の科学出版 1,890円
- 2 Good Luck
アレックス・ロビラ他 ポプラ社 1,000円
- 3 キッパリ!
上大岡トメ 幻冬舎 1,260円
- 4 健康な家に住みたいな!
外丸裕 PHP研究所 1,470円
- 5 最驚!ガッツ伝説
光文社 1,000円
- 6 十津川警部捜査行
西村京太郎 実業之日本社 860円
- 7 空中ブランコ
奥田英朗 文藝春秋 1,300円
- 8 さわりで覚えるクラシックの名曲50選
中経出版 1,470円
- 9 サルイエVol.1
ワニブックス 1,000円
- 10 犯人に告ぐ
伊井雅介 双葉社 1,680円

東京 八重洲ブックセンター本店
8月1~7日

2位、芥川賞作家のエンターテインメント

- 1 内側から見た富士通
成瀬幸 光文社 1,000円
- 2 雨にもまけず粗茶一服
松村栄子 マガジンハウス 1,395円
- 3 野中広務—差別と権力
魚住昭 講談社 1,890円
- 4 生き方
藤巻和夫 サンマーク出版 1,785円
- 5 自省録
中曾根康弘 新潮社 1,470円
- 6 「オンリーワン企業」はここが違う
安田隆平・板垣利明 経緯書房 1,890円
- 7 リーダーのための簿記の本
金光昭 中経出版 1,470円
- 8 健康な家に住みたいな!
外丸裕 PHP研究所 1,470円
- 9 上司は思いつきでものを言う
橋本治 実業社 693円
- 10 空中ブランコ
奥田英朗 文藝春秋 1,300円

仙台 金港堂本店
8月1~7日

4位、今週の「一冊の本」に著者が登場

- 1 クイック・ジャパンVol.55
太田出版 945円
- 2 邂逅の森
熊谷達也 文藝春秋 2,100円
- 3 混沌(上・下)
高杉良 講談社 各1,785円
- 4 グラスホッパー
井坂幸太郎 角川書店 1,575円
- 5 朝鮮半島を隔離せよ(上・下)
大石英司 中央公論新社 各945円
- 6 ダ・ヴィンチ・コート(上・下)
ゲン・ブラウン 角川書店 各1,890円
- 7 空中ブランコ
奥田英朗 文藝春秋 1,300円
- 8 自省録
中曾根康弘 新潮社 1,470円
- 9 相剋の森
熊谷達也 実業社 2,206円
- 10 さわりで覚えるクラシックの名曲50選
中経出版 1,470円